

〇〇「圧入マット式根固工法」＜急斜面・高所での画期的な根固め工法＞〇〇

圧入マット式根固工法は、基礎地盤を確保するための床堀や、コンクリート用型枠を不要とするために開発しました。

図-1.1.1は、マット内にグラウト（加圧）した状態をイメージしたものであり、これを図-1.1.2のように積み重ねながら所要箇所の間詰めを行います。

マットの寸法は、長さ（50cm）、幅（30cm）、高さ（15cm）となります。

内部には、それぞれの方向に寸法調整具を備え、マット表面に計画的に凹凸を形成させることで、間詰り箇所の排水を可能なようにしています。

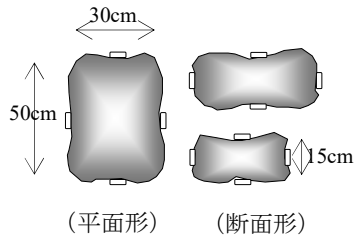


図-1.1.1 根固マット(グラウト状況)

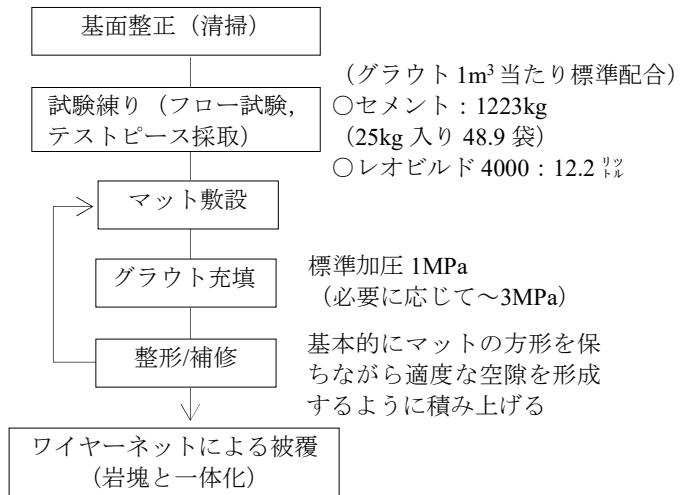


図-5.2.1 施工フロー図

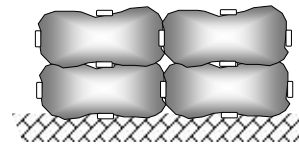


図-1.1.2 根固マット組立図

図-1.1.3は、加圧充填によって設置地盤が締め固められ、地盤支持力を高める仕組みを示します。

写真-1.1.1のような傾斜地では、図-1.1.4のように、あらかじめワイヤーネットを根固計画線に合わせてセットし、これの内側に敷き並べたマットを加圧充填することで、構築することが出来ます。

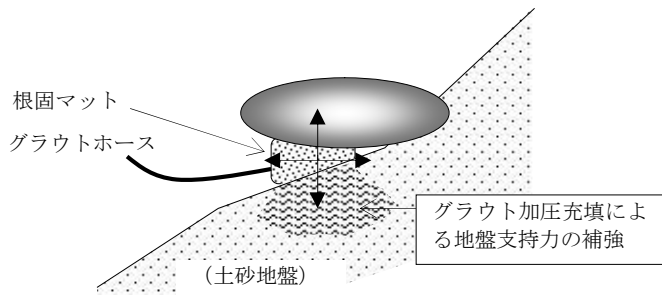


図-1.1.3 根固マットにより地盤支持力を増強する仕組み



写真-1.1.1 根固マットの設置が困難な例

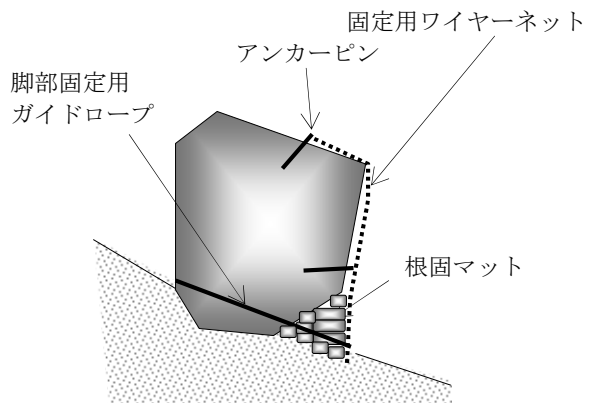


図-1.1.4 傾斜地での根固方法